

# カエル調査マニュアル

カエルは、豊かな農村環境の象徴的な生物の一つであると言われています。また、カメムシやウンカなどの害虫を食べてくれる益虫の働きをしてくれます。農地周辺では、たくさんのカエル（裏面参照）が見つかります。調査を通じて、カエルをはじめとした身近な生きものが、農業と深い関わりがあることを知ってほしいと考えています。

## 【方法】

- 畔を歩き、とび出すカエルの種類と数を圃場ごとに記録します。
- 調査にかかる時間は、1圃場あたり約10～15分です。
- 草刈り直後や気温が上がる午後はカエルが少なくなるため、避けてください。
- 見失った、種がわからなかった時などは「不明」に数を記録してください。

## 【場所】

- 様々な環境（山の近く・家の近く、大きい・小さいなど）が含まれるように集落内の田んぼを選び、その周囲の畔を歩いてください。
- 草刈り直後はカエルが少なくなるので、できるだけ畔の草丈が20cm程度の田んぼを選んでください。
- 1集落あたり10圃場を目安とします。目安を超えた実施に、制限はありません。

## 【時期・時間】

- 中干し時期までに調査してください（できるだけ早く実施してください）。  
※中干し時期を超えると、オタマジャクシからカエルに成長するため、圃場周辺から移動してしまうことがあるため。
- 気温が上がらない午前中に調査してください。

## 【提出物】

- ①調査票（1圃場につき1枚、1集落あたり10枚）
  - ②調査圃場の場所を記載した地図等
  - （③調査時の様子が分かる写真やその他補足資料 ※提出は任意です。）
- ※①・②（・③）を送付時の角2封筒にまとめてお入れいただき、ご提出ください。

## 【提出先】

市役所本庁舎2階農村環境課 または 各支所窓口

■問い合わせ先 丹波篠山市 環境みらい部 農村環境課 創造農村室

TEL:079-552-5013 FAX:079-552-0619 Mail: [kankyo\\_div@city.sasayama.hyogo.jp](mailto:kankyo_div@city.sasayama.hyogo.jp)



（引用）全国農業協同組合連合会「さあ、はじめよう！田んぼの生きもの調査―「農」が支えるたくさんのいのち―」

<p><b>トノサマガエル</b></p> <p>田んぼでよくみられるカエル。模様や色は個体差がある。「ぐぐぐっ、ぐぐぐっ」と鳴く。</p>	
<p><b>ツチガエル</b></p> <p>ヌマガエルと混同され通称「イボガエル」と呼ばれる。腹に模様があるのでヌマガエルと区別できる。「げえっげえっげえっ」と鳴く。</p>	 
<p><b>ヌマガエル</b></p> <p>ツチガエルと混同され通称「イボガエル」と呼ばれる。腹に模様がないのでツチガエルと区別できる。「きうっきうっきうっ」と鳴く。</p>	
<p><b>アマガエル</b></p> <p>民家の周囲でもよくみられる。緑色で目の後ろに黒い線があることで簡単に区別できる。「ぎゃっぎゃっぎゃっ」と鳴く。</p>	
<p><b>ヤマアカガエル</b></p> <p>茶色のアカガエルの仲間。主に森林で生活する。背中にある側線が目の後ろで広がることでニホンアカガエルと区別できる。「にゃっにゃっ」と鳴く。</p>	 
<p><b>ニホンアカガエル</b></p> <p>茶色のアカガエルの仲間。主に森林で生活する。背中にある側線が目の後ろで広がらないことでヤマアカガエルと区別できる。「きゅっきゅっ」と鳴く。</p>	 
<p><b>シュレーゲルアオガエル</b></p> <p>緑色のアオガエルの仲間。目の後ろに黒い線がないのでアマガエルと区別できる。目のふちが黄色なのでモリアオガエルと区別できる。田んぼで産卵する。「くりり、くりり」と鳴く。</p>	 
<p><b>モリアオガエル</b></p> <p>緑色のアオガエルの仲間。目の後ろに黒い線がないのでアマガエルと区別できる。目のふちが赤色なのでシュレーゲルアオガエルと区別できる。池の上の木で産卵する。主に森林で生活する。「きりっ、きりっ」と鳴く。</p>	 

※ランクは兵庫県版レッドリスト 2017 による。ランク無⇒C⇒B⇒Aの順に絶滅のリスクが高い。